

ASU no CHOFU

あすの調布

9
月号

JCI 
Junior Chamber International Japan
CHOFU

公益社団法人
調布青年会議所
2015年度

今アツいのはこの男!!

大人カッコいいJCメンバー特集

着た瞬間からチョイ悪モード。

気になるあの子を落とす今どきシャツ!

**欲しいのは、
本気の攻め!**

6月例会
恋する調布座談会

7月例会
シニアクラブ合同例会

8月例会
商売繁盛&
仲間づくりのつどい



8月例会

8月例会「商売繁盛&仲間づくりのつどい〜ビジネスマッチング with ワイン〜」を仙川で開催しました。武蔵府中青色申告会青年部所属の諸先輩方にもご参加いただき、大賑わいの異業種交流会となりました。参加者全員と交流を持つことを目的とした全員名刺交換や全員30秒スピーチを実施し、十分に交流いただくことが出来たと思います。今回の交流会をきっかけに参加者と発展した関係を続けていきたいと思ひます。

専務室 渡邊 涼介



調布グローバルフェスタ

今年も「ちょうふグローバルフェスタ」はお陰様で、無事開催することができました。今年度は悪く梅雨前線停滞中での開催となり、前々日・前日の準備および、当日早朝の設営は終始激しい雨の中での作業でした。当日イベントはご存知のとおり雨天決行イベントでしたが、準備中のあまりの雨の多さに、我々委員会メンバーは不安を隠し切れませんでした。しかし、当日イベントが開始すると同時に雨が止み、そのまま終了時間までまったく降らないという奇跡が起きました。前日天気予報では、100%の雨予想であったにもかかわらず。委員会メンバーおよび関係者の強い想いが天候をも左右させた、と思う出来事でした。来場者は10,000人以上あったものと思われ、多くの飲食ブース・ケータリングカーは完売し、各国のステージダンスショーもたくさんのお客様が見に来て下さり大盛況となりました。

また、今年もたくさんの国際交流アトラクションを企画しました。「多言語スタンプラリー」をはじめ「外国人留学生と遊ぶテーブルゲーム」、「調布市在住の外国人による英語でインタビュー」などを行い、子供から大人のお客様に国際交流体験を提供できたかと思ひます。

ちょうふグローバルフェスタの開催実現・並びに盛況結果は、皆様から頂きました絶大なご協力の賜物と心より感謝しております。本当にありがとうございました。

ちょうふグローバルフェスタは2020年東京オリンピックまで毎年開催する予定です。来年の開催に向けさらにパワーアップすべく、新しい国際交流の楽しみ方、調布市がよりグローバル化するためのベースアップ検証並びに準備を進めていく所存です。

今後とも皆様のご支援・ご協力の程宜しくお願ひ致します。

ちょうふグローバルフェスタ実行委員会 実行委員長 鳥居 秀浩



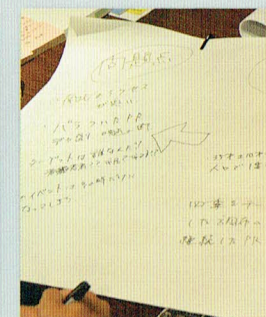
6月例会

6月10日木曜日にASIAN TAIPEIにて2105年度6月例会、調布の未来を描こうCAFÉ「恋する調布座談会」が開催され、調布で活躍する様々な団体の皆様に、所属の枠を超え大勢ご参加いただきました。調布の明るい未来を創造する市民の皆様とカフェをしながら交流し、どうしたらもっとたくさんの市民から愛されるまちづくりができるのかを考える場として楽しく意見交換が行われました。

当日は調布市役所産業振興課の鈴木様をお招きし、調布駅周辺の開発の展望や、調布市が目指す未来像などをお語りいただき、ディスカッションをおこなう上で材料をご提供いただきました。その後のディスカッションでは、様々な意見が飛び交い、充実した座談会になりました。ご参加いただいた皆様からは、多くのご好評をいただいた反面、もっとゆとり時間が欲しかったなどの今後に対する期待の声もいただきました。

このような所属の枠を超えた交流会を、第2回、第3回と続けていけるように運動していきたいです。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

恋する中長期委員会 副委員長 境屋 奈央子



7月例会

7月24日水曜日、現在調布青年会議所の事務局が所在する柴崎駅周辺を舞台に7月シニアクラブ合同例会が盛大に開かれました。総勢80名を超える現役、シニアクラブの方々にご参加いただき開会式、閉会式では柴崎駅前の事務局がこれまでにない活気に溢れていました。

シニアクラブ、現役ともに6グループに分かれ3店舗を順に回っていくという斬新なスタイルで一斉移動の際、道路上ですれ違うメンバー同士に笑顔が飛び交い、夜な夜な街が納涼の雰囲気に包まれていたのも印象的でした。

各会場ではシニアクラブの皆様熱い想いを現役がしっかりと受け取れたようです。終始和やかな雰囲気で開催されたこのような交流会をもっと増やしていきたいです。今度は我が家のある京王多摩川駅周辺でどうでしょうか？

ご参加いただいた多くの皆様には深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

広報交流あすの調布創造委員会 副委員長 白浜 利崇



公益社団法人調布青年会議所45周年記念式典並びに祝賀会

開催のご案内

今年公益社団法人調布青年会議所が創立45周年を迎えることとなりました。そこで「(公社)調布青年会議所45周年記念式典並びに祝賀会」を開催致しますことを下記の通りご案内申し上げます。ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

45周年記念事業 実行委員長 川端 宏志

日時：2015年10月6日(火)
 登録開始：17:00
 記念式典：17:30~19:20
 祝賀会：19:30~21:00
 場所：【記念式典】調布市文化会館 たづくり くすのきホール
 【祝賀会】調布市文化会館 たづくり 12階大ホール
 調布市小島町2-33-1



普段のJC活動では見ることができない
メンバーの普段の顔をご紹介します!



横川 尚行さん
恋する中長期委員会の核弾頭も
45周年記念式典に向け
燃えてくれることでしょう。



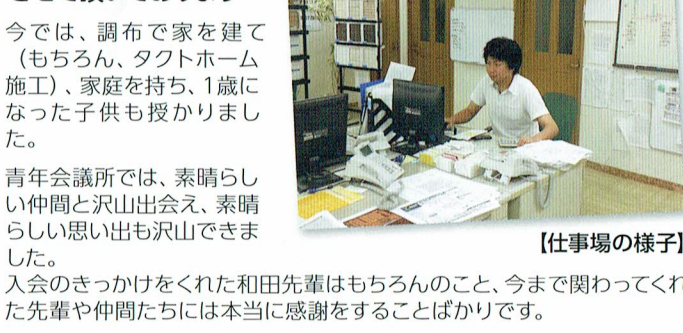
「はい! 私、オイスターマイスターの横川です。
府中に牡蠣ばさらをオープンさせました!」
「今後ともばさらグループをよろしくをお願いします。」

高橋 秀幸さん
タクトホーム(株)
建築・不動産業



18歳まで埼玉県春日部
市で育ち、小・中・高は
サッカー少年でした。

高校1年生の夏休みに、ブラジルのサッカー留学するぐらい、本気でサッカーに取り組んでいましたが、高校3年生のインターハイで全国大会にいけず、心が折れ、サッカー人生からドロップアウトしました笑。



【仕事場の様子】
入会のきっかけをくれた和田先輩はもちろんのこと、今まで関わってくれた先輩や仲間たちには本当に感謝をすることばかりです。

調布JC
メンバーの
素顔



井上 耕志さん
調布市議会議員
先の調布市議会議員選挙にて見事当選を果たした井上耕志君。選挙戦では毎日のように調布駅前に立ち、必死にご挨拶を行っていたのが印象的でした。また、自転車に乗って街中を駆け回る姿は街のニューリーダーにふさわしい姿だったように思われます。JC運動においても忙しい中、義理人情に熱い行動で皆の手本になっております。



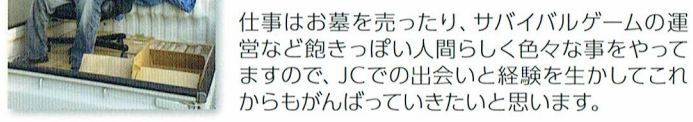
今期は中堅議員として益々活躍して下さることでしょ。今後も井上耕志君から目が離せません。



白浜 利崇さん
(株)天望商事 サービス業
多摩川で生まれ育ち、多摩川から脱出したはずなのに気がついたら多摩川に家を建ててしまいました、不思議なこともあるもんですね。



JCは7年目で今年卒業ですが、つい先日のわんぱく相撲では二男が選手宣誓をさせていただいたり本当にいい経験と出会いをいただいています。

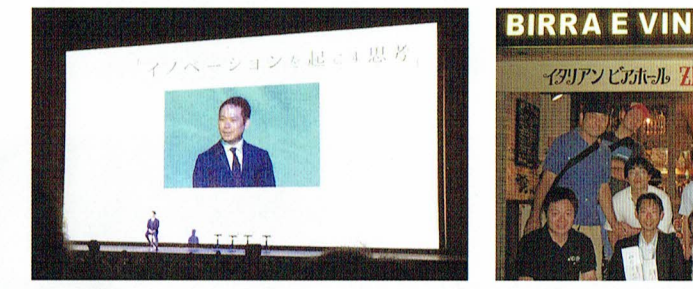


飽きっぽい性格なのか、昔から色々やってはすぐ辞めているので何もできない大人になってしまいました。そんな中でもゴルフは10年くらい続いてまして、たまに子供たちと練習場に行ったりもします。

仕事はお墓を売ったり、サバイバルゲームの運営など飽きっぽい人間らしく色々な事をやりますので、JCでの出会いと経験を生かしてこれからもがんばっていききたいと思います。

横浜サマーコンファレンス

去る7月18日・19日の二日間に渡り、横浜サマーコンファレンス(サマコン)が開催されました。今年は「イノベーションを起こす思考~文明が生み出す『底知れぬ力』による日本再興~」をテーマに、様々なフォーラム・イベントが開催されました。私は出向先の日本再興会議のスタッフとしてサマコンに参加しました。日本再興会議が主催した、笹川陽平さんの『誇りある日本創造フォーラム』を拝聴した中で印象に残った言葉があります。「我々の中に良き日本人としてのDNAがある。このDNAをタスキのように次の世代に引き渡すことが大切。」JC運動を行うにあたり、今の世代にはもちろんこと、「次世代に何を残していくか」ということを念頭に活動していくことが必要であると感じました。



また、クロージングの場で柴田会頭が「イノベーションは、外に出てそれぞれのアイデアをぶつけるところから生まれる。」というメッセージを発信されました。積極的に調布の外に出ていき、様々なアイデアに触れることも大切だと思います。もちろん、日本再興の基盤はそれぞれの地域での活動です。LOMナイトに参加し、日本再興はこの調布JCの仲間たちと実現していくのだと改めて実感した次第です。サマコン、そして出向先での経験を調布JCの活動に還元して参ります。最後に、出向の場を頂きましたことに改めて感謝を申し上げます。ありがとうございます。

広報交流あすの調布創造委員会 山崎 友裕



東京ブロック協議会

この度、東京ブロック協議会に出向させて頂き講演事業をさせて頂きました。その目的は「イノベーション」です。地域創生をさせるためにはイノベーションが必要であるという非常に抽象的なものでした。ところが様々な事例を調べていくとイノベーションが起こった地域では必ず一つの事象が起こっていました。それは「地域コミュニティ」の復活でした。そこに着目し地域に根強く浸透しているサッカークラブを題材に事業を行いました。その中で非常に印象的だった講師福田正博氏の言葉があります。「強力なチーム作りにはクラブチーム・サポーター・選手が三位一体となる事が重要だ」すなわち、強力なチームは地域、クラブチームが行政、サポーターが地域住民、選手が我々JCだと置換える事ができます。この経験を活かし今後も強力なチーム作りの為に一躍を担っていきたいと思います。

広報交流あすの調布創造委員会 巴山 勝済



VS委員会



去る5月19日月曜日、三鷹マロンテラスにて
当委員会VS恋する中長期委員会とのフットサル対決が行われました。

対決は10分一本勝負。開始1分先よく白浜副委員長のゴールで先制した当委員会でしたが、すぐさま遠藤大貴委員長のスーパーゴールで中長期委員会が同点に追いつく展開。ここで更に境屋副委員長のゴールが決まり、女性特別ルールにより中長期委員会が2点追加。絶対負けられない当委員会は佐保田委員長の技ありゴールで一点返す白熱の展開。ドラマが起きたのは終了間際の開始9分。白鳥君の絶妙なパスを受けた大井副委員長が劇的な逆転2点ゴール。誰もが当委員会の勝利を確信したロスタイム、1993年のドーハの悲劇を思い出させるような悲劇が起こる。中長期委員会の遠藤晃弘副委員長のパスカットから小林達也君へ繋いでゴール前の遠藤大貴委員長へ。振りぬいた右足から放たれたシュートは無情にも佐保田委員長の足に当たってゴールに吸い込まれた。勝ちを意識した当委員会の気の緩みが起こした悲劇であった。結果は4-4の同点で終わったのだった。この試合を盛り上げたのは、2人の女性副委員長であったのは間違いがない。二人には当日のMVP賞が授与されたのだった。これでVS委員会は1勝1引き分け。次の一戦に期待したい悔しい一戦となった。



じゃがいもクラブ (ゴルフ部)

晴天に恵まれた6月24日水曜日
第二回じゃがいもクラブコンペが
開催されました。



順位	プレイヤー名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	加藤 百恵 様	39	38	77	6.0	71.0
準優勝	白浜 利崇 様	42	41	83	10.8	72.2
3位	加藤 宜雄 様	42	52	94	20.4	73.6
4位	新園 政和 様	43	46	89	14.4	74.6
5位	鳩山 恵子 様	48	52	100	25.2	74.8
6位	佐保田 豊太 様	47	53	100	24.0	76.0
7位	巴山 勝済 様	41	45	86	9.6	76.4
8位	片桐 進祐 様	49	42	91	14.4	76.6
9位	堀 善一 様	50	47	97	19.2	77.8
10位	瀧柳 伸央 様	55	54	109	31.2	77.8

【優勝はさすがの加藤百恵さん!】

場所は自然たっぷりの丘陵コース、武蔵丘ゴルフコース。
暖かい気候とほのぼのとした風景に参加者のスコアもまったりとしてしまった模様でした。

懇親会は多摩川フローラルガーデンアンジェでの大 BBQ 大会。

梅雨の合間に最高の夏の1ページが刻まれました。

次号45周年特別号では、盛大に開催されました45周年ゴルフコンペの模様をお伝えします。じゃがいもクラブ会長 佐保田 豊太

プレストクラブ (音楽部)

今年度初めに発足いたしましたプレストクラブ (音楽部) ですが、去る8月2日、おらほ仙川夏まつりにおいて遂に初ライブを迎えました。演奏したのはジャズのスタンダード・ナンバーである、My Favorite ThingsとCantaloupe Islandの2曲。人前でジャズを演奏するのが初めてだったメンバーもありましたが、内容は堂々たるものであったと思います。お祭りを盛り上げるのに少しでも貢献できたとすれば光栄です。

そして8月23日にはなんと、調布グリーンホール小ホールにて開催されたCovers Rock Fes 2015に参加させていただきました。上記のジャズ2曲に加え、「夏祭り」と「ギザギザハートの子守唄」というポップな曲目も加え、大いに盛り上がる事が出来ました。ほぼ初心者からプロ級の腕を持つメンバーまで、個々の演奏のレベルにはかなりの幅があったにもかかわらず、各メンバーがそれぞれに重要な役割を担い、結果としてとても一体感のある素晴らしいパフォーマンスが実現したと思います。素晴らしい機会を与えて下さった吉田勝重先輩、そして当日お忙しい中応援に駆けつけて下さったJCメンバー及び諸先輩の皆様、誠にありがとうございました。

これから更なる高みを目指して精進して参る所存ですので、今後とも応援宜しくお願い致します。

プレストクラブ部長 小田井 清充



【おらほ仙川夏まつりにて】

【Covers Rock Fes 2015にて】



学生時代はサッカー一筋でした

先日、15年ぶりに高校のライバル校との試合をしました (キーパーです)。

日本を心から愛す
世界のやまちゃんです!

一人旅が好きです。バックパックと共にどこまでも歩きます。

山崎 友裕さん

Mipox (株) 製造業

アウトドアも好きですが、最近では時間が無くて。。。



【しまなみ海道を徒歩で渡った時のもの】



【乗鞍岳をロードバイクで登頂しました】



【生活の一部に、こんな景色があったら最高ですよ】

峯水 延浩さん

電気通信大学 講師

地域ICTの実用化を目指して放送技術を開発しています。

専門は「電波系」。地デジ放送を地域情報化に役立てる技術を作っているニッチ分野の技術者です。電波・通信・防災・映像・音響と幅広く活動しています。今年度は「咲かせよう! 調布さくらプロジェクト」の代表を仰せつかり、市内のお祭りにも出展させて頂いています。



【柴崎さきちゃんとツーショット】



【さくらプロジェクトのメンバーと】

【ミネムリンのあだ名、気に入ってます。笑】

【職場の放送設備と開発メンバー】

巴山 勝済さん

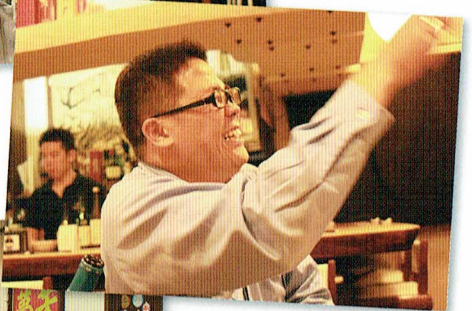
目指すは調布のビッグダディ

巴山興業 (株) 産廃処理業、建設業

日本の少子化を止めるのは俺だと豪語する青い稲妻も今年は東京ブロックの委員長として活躍されています。最近では近くのスーパーで様々なお酒を購入し、ご自宅で嗜んでいるそうです。野球にゴルフとスポーツマンな巴山さんの今後の活躍に期待しましょう。



【豪快に生牡蠣を喰らう】



【豪快に笑う】



【行きつけの店の前でポーズを決める。そして豪快に遊ぶ】

井上 一格さん

(有) えの木駐車場 駐車場業

かわいい奥様とかわいいお子様に囲まれ幸せなイッカク君。

消防にJCに調布市内で大活躍中です。本年度は初めての理事で緊張していますが、調布の為、自身の成長の為に奮闘しています。11月には担当例会があり、絶対成功させるんだと気合十分です。

イッカクじゃなくてカズノリだ! 笑



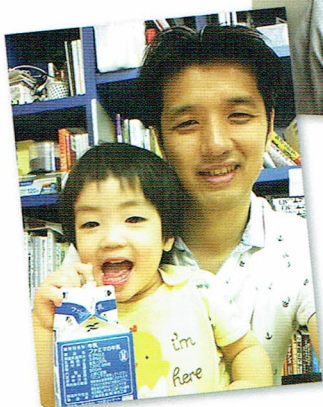
たまには運動しなさんと、フットサルにも参加しています。

山口 剛一さん

中小企業診断士・経営コンサルタント



調布市在住 11年、1児の父で中小企業診断士・経営コンサルタントです。調布の事業者や経営者を元気にすることで調布の未来を明るくしたいとの想いで2年前に独立し、主に創業支援や経営改善、資金調達や補助金申請支援、IT/WEB活用支援などをやっております。



卒業まで残り数ヶ月しかありませんが、思い出に残る活動をしていければと思いますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお祈りします!

イクメン剛ちゃん、最後まで突っ走ってください。

新入会員紹介

杉本 美喜雄さん

兼業農家・不動産賃貸借業



新たな風を はじめまして、杉本美喜雄と申します。 吹かしちゃいませよ!
 仕事は兼業農家と不動産賃貸借業をしています。写真は、ビニールハウスの畑を耕しているところです。休日は、子供たちと遊んだり、趣味の水泳をしたり、友達と出かけたりしています。これから少しずつ協力していきたいと思っております。

音楽家 小田井清充のコラム・エルゴ・スム vol.3



「国の借金が1000兆円を超えて」云々という報道を頻繁に目にします。しかしながら、この「国の借金」なる用語は、誰が誰に借りているお金を意味するのかという点において誤解を招きやすいのではないかと思います。借りているのはいうまでもなく我が国の政府です。では貸しているのは誰でしょうか? ▶外紙ではしばしば報道されますが、我が国政府の債務(つまり借金)の90%以上は日本国民及び日本企業に対して負っているものです。読者の皆様の中にも、資産の一部を国債として運用されている方もおられるのではないのでしょうか。つまり、普通に考えれば分かる事ですが、「国の借金」なるものはその9割以上が国民及び国内企業の「資産」でもあるのです。

そしてこの政府の債務であると同時に国民及び国内企業の債権(つまり資産)であるところの数字を、あろうことか我が国の人口で割り算し、その商を「国民一人当たりの国の借金」などと呼ぶのは正にナンセンスなのです。この間あるテレビ番組において、「国の借金は国民の借金」などという解説がなされておりましたが、出鱈目もいいところです。▶我が国政府の債務が膨らみ続けているというのは一応事実ですが、この事はつまり、我が国の国債発行額が上がり続けているということとおおよそイコールの関係にあります。端的に申せば、市場において我が国の国債の売れ行きが良く、更にそれが伸び続けているという事です。この事の原因については今年2月10日付のブルームバーグ紙が、「成長率・インフレ率の低い経済状況において投資家は、ほぼノーリスクでの利息を保証するような(国債などの)債券を購入したがる」とシンプルに解説しておりました。即ち、我が国政府の負債が膨らみ続けているのは、比較的安全な投資対象としての国債に対する需要が高まった結果なのであり、我が国がお金に困り借金に走ってそうなった訳ではないのです。▶ちなみに、我が国は外国からどれだけのお金を借り、またどれだけのお金を外国に対して貸しているのでしょうか? ▶我が国の国民・企業・政府が海外に持つ資産から負債を引いた額を対外純資産といいますが、昨年5月26日付のロイター通信は一昨年度末の我が国が対外純資産額325兆円(資産797兆-負債472兆)を記録すると共に、23年連続で世界最大の債権国となったという報道をしております。そして今年5月22日付の日本経済新聞は、我が国のマスコミには珍しく、昨年度末の我が国の対外純資産額が366兆8560億円(資産945兆2730億円-負債578兆4160億円)を記録し、24年連続で我が国が世界第一位の対外債権国となったと報じております。▶つまり統計的事実を有り体に申せば、国(政府)の借金は国民の資産であり、その国民の諸外国に対する純資産額は現在も世界第一位の座を独走中という事になるのです。

編集後記

前回の表紙でなにやら良からめ方向にいきそうな雰囲気だったので、今回の表紙のテーマは王道のメンズ雑誌(のつもりですが…)にしました。全力でお付き合いいただいた管理事務、素敵です。「欲しいのは、本気の攻め。」生きてく上で大切なことですね。